

## 平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荻原幹子
		全体計画						経費区分		-		内線	3352
事務事業名	5860 特定保健指導事業												
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課												
施 策	01010200 地域医療を支える体制づくり												
予算 科目	会計	11 国民健康保険特別会計											
	科目	040201 保健事業費・特定健康診査等事業費・特定健康診査等事業費											
	事業	010200 特定健康診査等事業・特定保健指導事業											
事業目的						事業概要・効果							
生活習慣病の予防 特定保健指導目標実施率60%						糖尿病等生活習慣病対策として医療保険者に特定健診・保健指導が義務づけられている。高血圧、糖尿病の発症予防及び重症化予防を実施することにより、医療費の適正化を目指す。							

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成27年度 実績	平成28年度 実績
特定保健指導実施率目標 50% 特定保健指導の実施 尿中塩分測定 集団運動実践	特定保健指導実施率目標 55% 特定保健指導の実施 尿中塩分測定 集団運動実践
平成29年度 実績	平成30年度 予定
特定保健指導実施率目標 60% 特定保健指導の実施 尿中塩分測定 集団運動実践	特定保健指導実施率目標 51%
平成31年度 予定	平成32年度 予定
特定保健指導実施率目標 52%	特定保健指導実施率目標 54%

指標名	特定保健指導年間実施率				
算式	(特定保健指導修了者÷特定保健指導対象者) × 100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	55	60	51	52
	実績	50.7	48.1		
指標選定の理由	第2期須坂市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づく				
最終年度目標の根拠	国の目標に準ずる				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		2,419	3,738
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	1,461
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,419	2,277
人員数(人)	正規職員	2.3	2.3
	嘱託職員	0.8	0.8
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	16,442.7	16,442.7
	嘱託職員	2,212.8	2,212.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	18,655.5	18,655.5
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		21,074.5	22,393.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	60	講師謝礼
11節 需用費	826	消耗品費 673 印刷製本費 153
13節 委託費	244	健診データ分析ソフトサポート委託料65 尿中塩分測定委託料 5 健康教育・保健指導委託料 174
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,289	臨時職員賃金 1,281 普通旅費(特定保健指導に関わる研修会出席) 8

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	160	特定保健指導事業評価アドバイザー 医師研修会謝礼
11節 需用費	989	消耗品費 印刷製本
13節 委託費	469	健診データ分析ソフトサポート委託料 尿中塩分測定委託料 健康教育・保健指導等委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	47	保健指導者養成セミナー負担金
その他	2,073	臨時職員賃金 旅費（特定保健指導等に関わる研修会出席） 郵便料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	<p>高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、データヘルス計画を策定し実施をしている。疾病の予防、重症化予防は健康な暮らしの充実のため、必要な事業であると考え。また、地域医療を守り、社会保障制度の安定を図ることにつながるため、今後も取組んでいく必要がある。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	<p>特定保健指導により、検査データの改善、生活習慣の見直し等につながってきている方もいる。特定保健指導の実施率は向上してきているが、60%の目標にはまだ達していない。連絡がとれない、保健指導を受け入れていただけない等の課題がある。</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	<p>個別支援のため、効率性については事業のコスト削減は難しいが、予防的関わりをすることで、その後の医療費削減、介護費の削減につながるため、データ等活用し、予防効果の高い方々に対し、引き続き保健指導、支援を実施していく。</p>	

振り返り（決算年度の取組み課題）

特定保健指導率は、年々向上してきているが、目標にはまだ達していない。須坂市の課題である高血圧の予防と共に尿病性腎症の重症化予防を中心に、今後も、啓発や個別の指導を大切に実施していく。また、連絡がとれない方へのアプローチ方法の検討や、支援者である専門職の確保と力量形成も重要である。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>保健指導実施を確実に継続的に行なうことが必要。そのためには、かかりつけ医との連携と重点事業として実施していく。</p>		<p>対象者に対し、指導を受けるよう働きかけに努める。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	